

[048_2007]第48回附属図書館貴重文物展示：東西の 古医書に見られる病と治療：附属図書館の貴重書コ レクションより

九州大学附属図書館

Michel, Wolfgang

九州大学大学院言語文化研究院：教授

田村，隆

九州大学大学院人文科学研究院：専門研究員

<https://doi.org/10.15017/6039>

出版情報：展覧資料，2007-05-10. Kyushu University Library

バージョン：

権利関係：

展示会開催にあたって

九州大学附属図書館長 有川 節夫

九州大学附属図書館では、開学記念行事の一環として、九州大学が所蔵する貴重書文献等を紹介する展示会を、昭和54年度から毎年開催しています。本学の学生、教職員だけでなく、一般市民の方にも多数ご来場いただき、お陰様で高い評価をいただいています。

今年は、「東西の古医書に見られる病と治療」をテーマとして企画しました。関連した企画は平成10年にも、「東西の古医書に見られる身体」として開催していますが、好評でしたのでその続編という意味合いも持たせて、今回は「病と治療法」に焦点をあてました。

内容は、九州大学が所蔵する、およそ17世紀から19世紀までの古医書に見られる諸事例を通じて、昔の病気観と治療法を概観しようというものです。各種疫病や寄生虫、傷・腫物の手当て、鍼灸など、当時の人々の病気に対する考え方や治療法、東西交流における日本の貢献など広範囲にわたってご紹介します。普段あまり見ることのない貴重な資料を展示しますので、多数ご来場くださいますようお願いいたします。

また、開催期間中の5月13日(日)には、九州大学大学院 言語文化研究院 ヴォルフガング・ミヒェル教授による公開講演会を開催いたします。展示会に関連した講演ですので、こちらにもお運びくださいますようお願いいたします。

今回の展示会にあたりまして、言語文化研究院のヴォルフガング・ミヒェル教授、人文科学研究院の田村隆専門研究員をはじめ多くの方に多大のご協力をいただきました。これらの方々に厚くお礼を申し上げます。

平成 19 年 5 月 10 日